



福祉のまちづくり 研修会

- 1 部 「医療従事者と建築士の連携～福祉の世界における建築士の守備範囲」
2 部 ワークショップ 「認知症世界の歩き方」～認知症と空間デザイン

研 修 趣 旨

厚生労働省ではノーマライゼーションの理念を「障がいのある人もない人も、互いに支え合い、地域で生き生きと明るく豊かに暮らしていける社会を目指す」としており、地域社会での自立生活を支援する方向に向かっています。また、日本の人口高齢化率は65歳以上が全人口の 21%を超え『超高齢社会』に突入しています。2025年の本年中には、高齢化率が 30%を超えると予測されています。そのような社会情勢の下で、建築士の役割～建築士だからこそできる『福祉のまちづくり、住まいづくり』を研鑽し、社会の求めに貢献できることを目指して研修会を開催します。

日 時 ・ 場 所

□日時 /11 月 8 日(土)

・受付 13 時 10 分～

・研修 13 時 30 分～16 時 30 分

□会場 / ポルタ久居 2 階

交流活動室 C(近鉄久居駅直結)

津市久居新町 3006

※駐車案内

建物内に津市営駐車場があります

(有料)

講 師 紹 介

◆講師 石井隆司氏

□公益社団法人 愛知建築士会 副会長

・まちづくり委員長(防災空家部会長

元福祉部会長)

・建築士サポートセンター特別委員会委員長

□公益社団法人 日本建築士会連合会

・CPD 専攻建築士制度委員会 副委員長

・災害対策委員会 委員

・財政健全化検討 TF 委員会 委員

□社会福祉法人

・名古屋市総合リハビリテーションセンター 嘱託職員

参加申し込み

◇募集人数 ○士会会員・一般(会員外) 計 20 名 参加費 500 円(当日)

○大学・短期大学建築科学生・高等学校建築科生徒 計 10 名 参加費無料

◇お申込みは下記 URL または二次元コードより専用申込みフォームへアクセスしお申込みください。

尚、先着順となりますので、定員になり次第締め切りとさせていただきます。

<https://forms.gle/g743wmrZnsN443VP8>



研 修 内 容

■1部 講座タイトル(60 分)

「医療従事者と建築士の連携～福祉の世界における建築士の守備範囲」

建築士と医療専門家との連携推進事業（R2 普及センター助成事業 選評より）

リハビリテーション病棟入院患者を対象として、過年度に実施した医療専門家と建築士が連携して行った医療分野での建築士の役割の明確化等を踏まえ、医療と建築の連携の方法や時期、医療従事者が行うリハビリや住宅改善指導の効用検証を行い、それを踏まえ医療と建築の連携のガイドラインを作成し、普及促進や広報を行う事業。

ウィズコロナの時代に医療分野と建築分野との連携は喫緊の課題であり、当該事業が現場レベルでの両者の連携の実践的活動であることは評価される。

地域の特性による影響を受けにくい分野であり、一部地域での活動に留まらず、より広範囲な普及活動を期待する。

https://www.jaeic.or.jp/other_info/fukyuchosajigyo/cf-kettei/2020-josei.html

■2部 ワークショップ(60 分)

「認知症世界の歩き方」～認知症と空間デザイン

サッカク砂漠

https://issueplusdesign.jp/dementia_world/story/6/

ホワイトアウト

https://issueplusdesign.jp/dementia_world/story/2/

カクテル

https://issueplusdesign.jp/dementia_world/story/12/

温泉

https://issueplusdesign.jp/dementia_world/story/7/

■その他(ご案内)(15 分)

建築プロジェクト(公共工事)の当事者参画ガイドライン

<https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/content/001892108.pdf>

◆主 催 /一般社団法人 三重県建築士会

◆運 営 /同 防災福祉まちづくり委員会

◆申込み・問い合わせ先 /一般社団法人三重県建築士会

TEL/059-226-0109、FAX/059-225-4281、e-mail /kenchikushikai-mie@nifty.com

※当日連絡先/090-9177-9747(田中)